

# 議会での指摘の進捗状況について

「機械警備業務の複数年契約化」「サーバー賃借料見直し」等、私の指摘・提案が、着実に市政に反映されています。

しんちよく

## ■「機械警備業務の複数年契約化」の進捗状況

私は、機械警備業務の契約期間を複数年化することで警報装置の設置費用が分割され、より公平・公正な入札が可能になると指摘してきました。これを受けて、市が機械警備業務の契約期間を5年間に改めて入札を実施した結果、

①毎年、多額の費用が発生していた小・中・高・養護学校、幼稚園の機械警備業務  
⇒過去、入札に参加していない事業者が、10年以上、連続受託してきた事業者より約4,380万円(約23%)低い価格で受託

②その他の施設を対象とした機械警備業務  
⇒現在より約3,300万円(約38%)低い価格で事業者が受託

という2つの大きな成果を得ることができました。

## ■「サーバー賃借料見直し」の進捗状況

本市の業務用システムの一部は、複数のサーバー(小型コンピューター)に搭載されています。

## ■諸事雑感

今年、西宮市は「文教住宅都市宣言」50周年を迎えます。この宣言は西宮市の大切な看板ですが、学校の校地・教室不足、保育所における多数の待機児童の存在等、実情は宣言から程遠いものです。市長は、50周年を記念するシンポジウムの実現に意欲を燃やしていますが、必要なのは、そのようなイベントではなく宣言に見合ったまちづくりを進めることです。「文教住宅都市」の名にふさわしいまちづくりを進めるため、積極的な活動を続けてまいります。

私は、2011年12月議会において、

○サーバー322台のうち、稼働状況の調査が可能なものは35台に留まる

○調査可能なサーバー35台のCPU利用率(コンピューターの稼働状況を調査する指標の一つ)が、ほぼ全ての時間帯で20%を下回る

○35台中24台のCPU利用率が、ほぼ全ての時間帯で2%を下回る

ことを明らかにしました。一般的にCPU利用率の適正値は50～60%程度とされています。本市の現状を踏まえると、サーバー台数の削減と、削減による大幅な賃借料低減が可能と思われます。一方で、台数適正化のためには全サーバーの稼働状況調査が欠かせません。そのため、私は稼働状況調査を実施し、台数適正化を実現するまでの一時的措置として、利用状況に応じた価格に賃借料を低減させるよう事業者と交渉することを求めてきました。こうした経緯を経て、**市が価格交渉した結果、2013年度のサーバー賃借料は前年度に比べて約1,200万円低下しました。**引き続き、この問題に取り組んでまいります。

## 澁谷 祐介:西宮市議会議員/三期目

- 昭和48年12月26日生まれ。B型・山羊座。
- 市立浜脇小・浜脇中・私立明星高・京都大学経済学部卒業。
- 平成8年4月より平成16年8月まで阪急電鉄株式会社勤務。書店ブックファースト・アズナス(コンビニ)等、小売事業を中心にキャリアを積む。
- 平成16年11月、西宮市議会議員補欠選挙にて初当選。現在三期目。
- 好きな言葉:一利を興すは一害を除くに如かず、大道無門
- 好きな作家:司馬遼太郎、浅田次郎、黒川博行、篠田節子、山崎豊子 他多数
- 尊敬する人物:織田信長、大久保利通

■詳しい日々の活動等をブログでご覧頂けます。  
<http://y-shibuya.blogzine.jp/blog/>

■市政に関する、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。ご連絡は、以下までお願いします。

★e-mail:shibuya@room.ocn.ne.jp

★tel:0798-22-7895

(恐れ入りますが、不在時は、留守番電話にメッセージをお願いします。)

しづや祐介事務所:〒662-0927 西宮市久保町1-16-202 / e-mail:shibuya@room.ocn.ne.jp

## 西宮市議会議員

# しづや祐介

市政報告・33号×2013年4月

私たちが暮らす、西宮の未来のために。

浜脇小・浜脇中・明星高・京都大学卒  
元阪急電鉄(株)勤務 行動する政治!

## TOPICS&CONTENTS ~今号の目次&内容~

- ◆3月議会のご報告/  
予算の概要と、私の考え
- ◆高木地区の新校整備/  
長期的視点に基づいた整備を!
- ◆総合防災センター/  
慎重な検討を!
- ◆給与制度の見直し/  
給与水準の是正を!
- ◆退職手当の見直し/  
退職手当が大幅に減額されます
- ◆進捗状況のご報告/  
議会での指摘の進捗状況

## 3月議会のご報告

2013年度予算の概要と、私の考え。

### ■予算概要と市長の方針

3月議会に2013年度予算案が提出され、審議の結果、賛成多数で可決されました。予算総額2839.5億円は前年度比4.6億円、0.2%の減額。昨年度同様、予算総額が前年度を下回りました。

このような状況の中、市長は2013年度を「将来見据え踏み出す年(西宮市HPより引用)」と位置づけ、

- アサヒビール工場跡地の購入と跡地での施設整備
- 総合防災センターの整備

等、多額の費用を要する事業の推進に強い意欲を示しています。

### ■適正な資金の配分を!

本市財政は、歳入の大幅な増加が期待できない一方で、

- 高齢化の進行に伴う行政需要の増大
- 道路・橋梁・水道・学校等、社会インフラの維持・保全に必要な費用の増大

等の要因による歳出の増加が見込まれており、今後も厳しい状況が続くのは確実です。市は、限られた財源を有効に活用するため、**事業の優先順位を十分に検討し、効果的・効率的に資金を配分すべきです。**